

注3

大学番号：222

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

大阪成蹊大学 マネジメント学部 国際観光ビジネス学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪成蹊学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

経営企画本部

クイエイキカク カチョウ
経営企画課長 馬場 勝吾

電話番号 06-6829-2620

(夜間) 06-6829-2620

F A X 06-6829-2802

e-mail ksh@osaka-seikei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

マネジメント学部

＜国際観光ビジネス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	44
7. その他全般的事項	45

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人大阪成蹊学園

(2) 大 学 名

大阪成蹊大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イイ シゲル) 石 井 茂 (平成25年4月)		
学 長	(ムサノ マコト) 武蔵野 實 (平成27年4月)		
学 部 長	(ミスノ トシキ) 水野 利昭 (平成30年4月)		
学科長等	(クニエダ ヨシミ) 国枝 よしみ (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
マネジメント学部 国際観光ビジネス学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	60人	年次人 3年次 2人	244人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 60 (-) [3]	人 - (-) [-]	人 60 (-) [3]	人 - (-) [-]	人 (-) (-) [-]	人 (-) (-) [-]	人 (-) (-) [-]	人 (-) (-) [-]	1.02 倍	-	
志願者数	191 (-) [3]	- (-) [-]	287 (-) [5]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
受験者数	187 (-) [3]	- (-) [-]	276 (-) [4]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
合格者数	116 (-) [2]	- (-) [-]	132 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
B 入学者数	61 (-) [1]	- (-) [-]	62 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.01		1.03		-		-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	平成30年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	61 [1] (-)	- [-] (-)	62 [2] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次			60 [1] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							- [-] (-)	- [-] (-)	
計	61 [1] (-)		122 [3] (-)		- [-] (-)		- [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	61 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	
令和元年度	122 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{61} = \boxed{1.63} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{122} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(1) 一① 授業科目表

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学共通科目	大学入門基 礎講座 日本語表現 情報処理	大学での学びとキャリアを考える	1前	2				2				5	
		日本語コミュニケーション1	1前	2								3	
		日本語コミュニケーション2	1後	2								3	
		情報リテラシー1	1前	2								2	
		情報リテラシー2	1後	2								2	
		外国語 共通基礎科目	英語基礎Ⅰ	1・2前		1							1
			英語基礎Ⅱ	1・2後		1							1
			英語演習Ⅰ	1・2前		1							1
			英語演習Ⅱ	1・2後		1							1
			英語演習Ⅲ	2・3前		1							1
			英語演習Ⅳ	2・3後		1							1
			英語表現Ⅰ	1・2・3前		1							1
			英語表現Ⅱ	1・2・3後		1							1
			英語表現Ⅲ (未開講)	2・3前		1							1
	総合英語A		3・4前		1							1	
	総合英語B		3・4後		1							1	
	総合英語C		3・4後		1							1	
	中国語入門Ⅰ		1・2・3前後		1							1	
	中国語入門Ⅱ		1・2・3前		1							1	
	フランス語入門Ⅰ		1・2・3前後		1		1						
	フランス語入門Ⅱ		1・2・3前		1		1						
	韓国語入門Ⅰ		1・2・3前		1							1	
	韓国語入門Ⅱ		1・2・3後		1							1	
	海外短期語学研修		1・2・3後		2							1	
	General English 1		1前		2			1		1			
	General English 2		1後		2			1		2			
	General English 3		2前		2			1		2			
	General English 4		2後		2			1		2			
	English Communication 1		1前		2			1		1			
	English Communication 2		1後		2			1		1			
	English Communication 3		2前		2			1		1			
	English Communication 4		2後		2			1		1			
	留学生科目		日本語演習1	1前		1							1
		日本語演習2	1後		1							1	
		日本語演習3	2前		1							1	
		日本語演習4	2後		1							1	
		総合日本語	3・4前		1							1	
	人間理解 テーマ別科目	総合講座「日本人論」(未開講)	1・2・3・4後		2							1	
		日本の文学	1・2・3・4前後		2							1	
		人間と宗教	1・2・3・4前後		2							1	
		比較宗教思想史	1・2・3・4前		2							1	
		哲学	1・2・3・4前後		2							1	
		心理学	1・2・3・4前後		2							2	
		民族学	1・2・3・4後		2							1	
		比較文化論	1前・2・3・4後		2							1	
		考古学	1・2・3・4前後		2							1	
		身体論(未開講)	1・2・3・4後		2							1	
		20世紀の芸術(未開講)	1・2・3・4後		2							1	
		現代社会と国際理解	日本国憲法	1・2・3・4前後		2							1
			国際協力と日本(未開講)	1・2・3・4後		2							1
国際理解教育(未開講)			1・2・3・4後		2							1	
人権と社会			1・2・3・4前後		2							2	
現代倫理			1・2・3・4後		2							2	

【認可時又は届出時】

科目区分			授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼 任	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
大学共通科目	教養科目	現代社会と国際理解	社会学概論	1・2・3・4前	2								1
			多文化共生社会	1・2・3・4後	2								1
			日本の社会福祉	1・2・3・4後	2								1
			女性学・男性学	1・2・3・4前	2								1
			経済入門	1・2・3・4前	2								1
			メディア・リテラシー	1・2・3・4後	2								1
			日本史概説	1・2・3・4前	2								1
			外国史概説	1・2・3・4後	2								1
			情報と職業	1・2・3・4後	2								1
		科学技術と環境の理解	生命と科学	1・2・3・4後	2								1
			環境と科学	1・2・3・4後	2								1
			暮らしの科学	1・2・3・4前	2								1
			物質と科学	1・2・3・4前	2								1
			現代科学論	1・2・3・4前	2								3
			地域文化の理解	大阪の風土と文化	1・2・3・4後	2							
		京都の文化と芸術		1・2・3・4前	2								1
		地域理解		1・2・3・4前	2				1				
		子どもと社会	子どもと文化	1・2・3・4後	2								1
			子どもの成長とコミュニティ	1・2・3・4後	2								1
		スポーツ健康とスポーツ	スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前後	1								1
			スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4前後	1								1
			スポーツ演習Ⅲ	1・2・3・4前後	1								2
			健康科学	1・2・3・4後	2								1
		キャリア支援科目	キャリアデザイン1	1後	2				1				3
			キャリアデザイン2	2前	2				1				3
			キャリアデザイン3	2後	2				1				3
			キャリアデザイン4	3前	2				1				2
	キャリアデザイン5		3後	2				1				2	
	インターンシップ1		2前	2								3	
	インターンシップ2		3前	2								3	
	キャリア演習1		2前後	2								2	
	キャリア演習2		2後・3前	2								2	
	キャリア演習3		2・3後	2								2	
小計（86科目）				-	10	136	0	1	5	0	0	0	58
専門科目	学部共通	基礎演習1	1前	2				2	1				
		基礎演習2	1後	2				2	1				
	学部基礎科目	マネジメント入門	1前	2									1
		マネジメントインフォメーション	1後	2									1
		ビジネス会計Ⅰ	1・2前	2									1
		ビジネス会計Ⅱ	1・2後	2									1
		ICT基礎Ⅰ	1前	2									1
		ICT基礎Ⅱ	1後	2									1
	学部基幹科目	ビジネスマネジメント	2・3前	2									1
		経営戦略論	2・3後	2									1
		マーケティング論	2・3前	2				1					
		組織とコミュニケーション	2・3前	2									1
		サービスマネジメント	2・3後	2				1					
	専門共通科目	リスクマネジメント	2・3後	2									1
		ビジネス会計応用Ⅰ	1前	2									1
		ビジネス会計応用Ⅱ	1後	2									1
		流通論	2・3前	2									1
		人事管理	2・3後	2									1
		インターネットビジネス	2・3後	2				1					
ビジネスデータ分析		2・3後	2				1						
情報倫理		2・3前	2									1	
情報社会論	2・3後	2									1		
データベース活用	2・3前	2											

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
大学共通科目	教養科目	現代社会と国際理解	社会学概論	1・2・3・4前後	2							2	
			多文化共生社会	1・2・3・4前後	2							2	
			日本の社会福祉	1・2・3・4後	2							2	
			女性学・男性学	1・2・3・4前後	2							1	
			経済入門	1・2・3・4前後	2							1	
			メディア・リテラシー（未開講）	1・2・3・4後	2							1	
			日本史概説	1・2・3・4前	2							1	
			外国史概説	1・2・3・4前後	2			1					
			情報と職業（未開講）	1・2・3・4後	2							1	
		科学技術と環境の理解	生命と科学	1・2・3・4前後	2							1	
			環境と科学	1・2・3・4前後	2							2	
			暮らしの科学（未開講）	1・2・3・4前後	2							1	
			物質と科学（未開講）	1・2・3・4前	2							1	
			現代科学論	1・2・3・4後	2							1	
		地域文化の理解	大阪の風土と文化	1・2・3・4前後	2							1	
			京都の文化と芸術	1・2・3・4後	2							1	
			地域理解（未開講）	1・2・3・4前	2				1				
		子どもと社会	子どもと文化（未開講）	1・2・3・4前	2							1	
			子どもの成長とコミュニティ（未開講）	1・2・3・4後	2							1	
		スポーツ健康とスポーツ	スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前	1							2	
			スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4後	1							2	
			スポーツ演習Ⅲ（未開講）	1・2・3・4前後	1				1			3	
			健康科学	1・2・3・4後	2							2	
		キャリア支援科目	キャリアデザイン1	1後	2		2		1				2
	キャリアデザイン2		2前	2		2		1				7	
	キャリアデザイン3		2後	2		2		1				7	
	キャリアデザイン4		3前	2		2		1				2	
	キャリアデザイン5		3後	2		2		1				2	
	インターンシップ1		2前	2		2			1			3	
	インターンシップ2		3前	2		2						3	
	キャリア演習1		2前後	2		2		1	1			2	
	キャリア演習2（未開講）		2後・3前	2		2						1	
	キャリア演習3（未開講）		2・3後	2		2						1	
小計（86科目）			-	10	136	0	1	5	0	3	0	72	
専門科目	学部共通	基礎演習1	1前	2				1	1	1			
		基礎演習2	1後	2				1	1	1			
	学部基礎科目	マネジメント入門	1前	2				1					
		マネジメントインフォメーション	1前後	2						1			
		ビジネス会計Ⅰ	1・2前	2								1	
		ビジネス会計Ⅱ	1・2後	2								1	
		ICT基礎Ⅰ	1前	2								1	
		ICT基礎Ⅱ	1後	2								1	
	学部基幹科目	ビジネスマネジメント	2・3前	2		2				1			
		経営戦略論	2・3後	2		2				1			
		マーケティング論	2・3前	2		2						1	
		組織とコミュニケーション	2・3後	2		2						1	
		サービスマネジメント	2・3後	2		2						1	
		リスクマネジメント	2・3前	2		2						1	
	専門共通科目	ビジネス会計応用Ⅰ	1前	2		2						1	
		ビジネス会計応用Ⅱ	1後	2		2						1	
		流通論	2・3前	2		2						1	
人事管理		2・3前	2		2						1		
インターネットビジネス		2・3後	2		2						1		
ビジネスデータ分析		2・3後	2		2						1		
情報倫理		2・3前	2		2						1		
情報社会論		2・3前	2		2						1		
データベース活用		2・3前	2		2						1		

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担				
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
学部共通専門科目	専門共通科目	情報ネットワーク	2・3後		2								1			
		マルチメディア	2・3前		2								1			
		生産管理	3・4前		2		1									
		社会貢献ビジネス	3・4後		2								1			
		経営モデル分析	3・4前		2		1									
		国際経営論	3・4前		2								1			
		企業ネットワーク論	3・4前		2								1			
		G I S 基礎	3・4前		2								1			
		G I S 応用	3・4後		2								1			
		プロジェクトマネジメント	3・4前		2								1			
		情報セキュリティ	3・4前		2								1			
		企業コンサルティング入門	3・4後		2								1			
		スポーツマンシップ論	1前		2								1			
		スポーツ栄養	3・4前		2								1			
		Intercultural Studies 1	1前		1								1			
		Intercultural Studies 2	1後		1								1			
		Study Abroad English 1	2前		1								1			
		Study Abroad English 2	2後		1								1			
	専門科目	専門科目基礎	国際経営総論	1前	2			1								
			観光ビジネス概論	1後	2				1							
			短期海外研修	1前		2		1	2							
		専門基幹科目	国際経営戦略論	2・3前		2		1								
			民法Ⅰ	2・3前		2								1		
			民法Ⅱ	2・3後		2								1		
			経営統計入門	2・3後		2		1								
			消費者行動論	2・3後		2		1								
			ホテルマネジメント論	2・3前		2			1							
			プライダル事業論	2・3後		2			1							
			旅行業事業論	2・3前		2		1								
			観光マーケティング	2・3後		2			1							
			Research & Presentation 1	3前		2			1					1		
			Research & Presentation 2	3後		2			1					1		
			Thesis Writing 1	4前		2		1	1							
			Thesis Writing 2	4後		2		1	1							
			学部別専門科目	専門展開科目	アジア市場と日本	3・4前		2		1						
					企業財務論	3・4後		2								1
Global Marketing	3・4前				2		1									
多国籍企業論	3・4後				2		1									
Airline Business Strategy	3・4後				2			1								
マーケティング・リサーチ	3・4前				2		1									
ブランド・マネジメント	3・4前				2			1								
広告とメディア	3・4後				2		1									
テーマパーク・レジャー産業論	3・4前				2		1									
NICEビジネス論	3・4後				2		1						1			
地域経営論	3・4後				2		1									
観光マネジメント特殊講義	3・4前				2		1									
Global Business Studies 1	3前				1			1								
Global Business Studies 2	3後				1			1								
Global Business Studies 3	4前				1		1									
Global Business Studies 4	4後		1		1											

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単 位 数			専任教員等の配置				兼任・兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
学部共通専門科目	専門共通科目	情報ネットワーク	2・3後		2							1		
		マルチメディア (未開講)	2・3前		2							1		
		生産管理	3・4前		2				1					
		社会貢献ビジネス	3・4後		2							1		
		経営モデル分析	3・4前		2			1						
		国際経営論	3・4前		2							1		
		企業ネットワーク論	3・4前		2							1		
		G I S 基礎	3・4前		2							1		
		G I S 応用	3・4後		2							1		
		プロジェクトマネジメント	3・4前		2							1		
		情報セキュリティ	3・4前		2							1		
		企業コンサルティング入門	3・4後		2							1		
		スポーツマンシップ論	1前		2							1		
		スポーツ栄養	3・4前		2							1		
		Intercultural Studies 1	1前		1							1		
		Intercultural Studies 2	1後		1							1		
		Study Abroad English 1	2前		1							1		
		Study Abroad English 2	2後		1							1		
		専門科目	専門基礎科目	国際経営総論	1前	2			1					
				観光ビジネス概論	1後	2				1				
				短期海外研修	1前		2				1			
			専門基幹科目	国際経営戦略論	2・3前		2			1				
				民法Ⅰ	2・3前		2							1
				民法Ⅱ	2・3後		2							1
				経営統計入門	3後		2			1				
				消費者行動論	2・3後		2			1				
				ホテルマネジメント論	2・3前		2				1			
				プライダル事業論	2・3後		2				1			
旅行業事業論	2・3前				2				1					
観光マーケティング	2・3後				2				1					
Research & Presentation 1	3前				2				1			1		
Research & Presentation 2	3後				2				1			1		
Thesis Writing 1	4前				2				1		1			
Thesis Writing 2	4後				2				1		1			
学部別専門科目	専門展開科目	アジア市場と日本	3・4前		2			1						
		企業財務論	3・4後		2							1		
		Global Marketing	3・4前		2			1						
		多国籍企業論	3・4後		2					1				
		Airline Business Strategy	3・4後		2				1					
		マーケティング・リサーチ	3・4前		2			1						
		ブランド・マネジメント	3・4前		2				1					
		広告とメディア	3・4後		2			1						
		テーマパーク・レジャー産業論	3・4前		2			1						
		MICEビジネス論	3・4後		2			1				1		
		地域経営論	3・4後		2			1						
		観光マネジメント特殊講義	3・4前		2			1						
		Global Business Studies 1	3前		1				1					
		Global Business Studies 2	3後		1				1					
		Global Business Studies 3	4前		1				1					
		Global Business Studies 4	4後		1				1					

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専 門 科 目	学 科 別 専 門 科 目	旅行業法関連法規	2・3前		2		1						
		旅行業取扱管理者演習	2・3前		2								1
		旅経管理者演習	2後		2		1						
		イベント企画演習	3後		2		1						
		専門インターンシップ	3後		2			1					1
		国際観光ビジネス調査	3後		2		1						
		English for Business Communication 1	3前		2		1	1					
		English for Business Communication 2	3後		2		1	1					
		English for Business Communication 3	4前		2			1					1
		English for Business Communication 4	4後		2			1					1
	専 門 演 習 科 目	専門演習 1	2前	2			3	3					
		専門演習 2	2後	2			3	3					
		専門演習 3	3前	2			3	3					
		専門演習 4	3後	2			3	3					
		専門演習 5	4前	2			3	3					
		専門演習 6	4後	4			3	3					
	小計（89科目）		-	30	142	0	4	5	0	0	0	0	21
	合計（175科目）		-	40	278	0	4	5	0	0	0	0	70

卒業要件及び履修方法

大学共通科目のうち、共通基礎科目から必修10単位を含む22単位以上、教養科目から10単位以上、キャリア支援科目から6単位以上、計38単位以上を修得するとともに、専門科目のうち、学部共通専門科目から必修12単位を含む30単位以上、学科別専門科目から必修18単位を含む38単位以上、計68単位以上を修得した上で、その他に大学共通科目もしくは専門科目から18単位以上を修得し、合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。

（履修科目の登録の上限：24単位（1学期））

[illegible]

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学 共通科目	大学入門基 礎講座	1前	2			2					5
	日本語コミュニケーション1	1前	2								3
	日本語コミュニケーション2	1後	2								3
	情報リテラシー1	1前	2								2
	情報リテラシー2	1後	2								2
	英語基礎Ⅰ	1・2前	1								1
	英語基礎Ⅱ	1・2後	1								1
	英語演習Ⅰ	1・2前	1								1
	英語演習Ⅱ	1・2後	1								1
	英語演習Ⅲ	2・3前	1								1
	英語演習Ⅳ	2・3後	1								1
	英語表現Ⅰ	1・2・3前	1								1
	英語表現Ⅱ	1・2・3後	1								1
	英語表現Ⅲ	2・3前	1								1
	総合英語A	3・4前	1								1
	総合英語B	3・4後	1								1
	総合英語C	3・4後	1								1
	中国語入門Ⅰ	1・2・3前後	1								1
	中国語入門Ⅱ	1・2・3前	1								1
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3前後	1								1
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3前	1								1
	韓国語入門Ⅰ	1・2・3前	1								1
	韓国語入門Ⅱ	1・2・3後	1								1
	海外短期語学研修	1・2・3後	2								2
	General English1	1前	2			1	1				1
	General English2	1後	2			1	1				1
	General English3	2前	2			1	1				2
	General English4	2後	2			1	1				2
	English Communication1	1前	2				1				1
	English Communication2	1後	2				1				1
	English Communication3	2前	2				1				3
	English Communication4	2後	2				1				3
	日本語演習1	1前	1								1
	日本語演習2	1後	1								1
	日本語演習3	2前	1								1
	日本語演習4	2後	1								1
	総合日本語	3・4前	1								1
大学 専攻科目	総合講座「日本人論」(未開講)	1・2・3・4後	2								1
	日本の文学	1・2・3・4後	2								1
	人間と宗教	1・2・3・4前後	2								2
	比較宗教思想史	1・2・3・4前	2								1
	哲学	1・2・3・4前後	2								2
	心理学	1・2・3・4前後	2								1
	民族学	1・2・3・4前	2								1
	比較文化論	1・2・3・4前	2								1
	考古学	1・2・3・4後	2								1
	身体論	1・2・3・4後(第)	2								2
	20世紀の芸術	1・2・3・4後	2								2
	現代社会と国際理解	1・2・3・4前後	2								2
	国際協力と日本	1・2・3・4後	2								1
	国際理解教育	1・2・3・4後	2								1
	人権と社会	1・2・3・4前後	2								2
	現代倫理	1・2・3・4前後	2								2

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任 ・ 兼 担
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
大学共通科目	現代社会と国際理解	社会学概論	1・2・3・4前後	2							2
		多文化共生社会	1・2・3・4前後	2							2
		日本の社会福祉	1・2・3・4後	2							1
		女性学・男性学	1・2・3・4前	2							1
		経済入門	1・2・3・4前後	2							2
		メディア・リテラシー	1・2・3・4後	2							1
		日本史概説	1・2・3・4前	2							1
		外国史概説	1・2・3・4前	2							1
		情報と職業	1・2・3・4後	2							1
		生命と科学	1・2・3・4後	2							2
	科学技術と環境の理解	環境と科学	1・2・3・4後	2							1
		暮らしの科学	1・2・3・4前後	2							1
		物質と科学	1・2・3・4前	2							1
		現代科学論	1・2・3・4前	2							3
	地域文化の理解	大阪の風土と文化	1・2・3・4後	2							1
		京都の文化と芸術	1・2・3・4前	2							1
		地域理解	1・2・3・4前	2			1				
	子どもと社会	子どもと文化	1・2・3・4前	2							1
		子どもの成長とコミュニティ	1・2・3・4後	2							1
	スポーツ健康と	スポーツ演習Ⅰ	1・2・3・4前後	1							1
		スポーツ演習Ⅱ	1・2・3・4前後	1							1
		スポーツ演習Ⅲ	1・2・3・4前後	1		1					3
		健康科学	1・2・3・4後	2							2
	キャリア支援科目	キャリアデザイン1	1後	2				1			3
		キャリアデザイン2	2前	2				1			3
		キャリアデザイン3	2後	2				1			3
		キャリアデザイン4	3前	2				1			2
		キャリアデザイン5	3後	2				1			2
		インターンシップ1	2前	2							3
		インターンシップ2	3前	2							3
		キャリア演習1	2前後	2							2
		キャリア演習2	2後・3前	2							2
		キャリア演習3	2・3後	2							2
専門科目	演習部共通	基礎演習1	1前	2			1	1	1		
		基礎演習2	1後	2			1	1	1		
	学部基礎科目	マネジメント入門	1前	2			1				
		マネジメントインフォメーション	1後	2				1			
		ビジネス会計Ⅰ	1・2前	2							1
		ビジネス会計Ⅱ	1・2後	2							1
		ICT基礎Ⅰ	1前	2							1
		ICT基礎Ⅱ	1後	2							1
	学部基幹科目	ビジネスマネジメント	2・3前	2							1
		経営戦略論	2・3後	2							1
		マーケティング論	2・3前	2			1				
		組織とコミュニケーション	2・3前	2							1
		サービスマネジメント	2・3後	2			1				
		リスクマネジメント	2・3後	2							1
	専門共通科目	ビジネス会計応用Ⅰ	1前	2							1
		ビジネス会計応用Ⅱ	1後	2							1
		流通論	2・3前	2							1
		人事管理	2・3後	2							1
		インターネットビジネス	2・3後	2		1					
		ビジネスデータ分析	2・3後	2				1			
		情報倫理	2・3前	2							1
		情報社会論	2・3後	2							1
		データベース活用	2・3前	2							1
		情報ネットワーク	2・3後	2							1
		マルチメディア	2・3前	2							1
		生産管理	3・4前	2				1			
		社会貢献ビジネス	3・4後	2							1
		経営モデル分析	3・4前	2			1				
		国際経営論	3・4前	2							1
		企業ネットワーク論	3・4前	2							1
		GIS基礎	3・4前	2							1
		GIS応用	3・4後	2							1
		プロジェクトマネジメント	3・4前	2							1

【平成30年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 次 年	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
学部共通専門科目	専門共通科目	情報セキュリティ	3・4前		2							1		
		企業コンサルティング入門	3・4後		2							1		
		スポーツマンシップ論	1前		2							1		
		スポーツ栄養	3・4前		2							1		
		Intercultural Studies 1	1前		1		1							
		Intercultural Studies 2	1後		1		1							
		Study Abroad English 1	2前		1							1		
		Study Abroad English 2	2後		1							1		
		専攻科目基	専攻科目基	国際経営総論	1前	2			1					
				観光ビジネス概論	1後	2				1				
短期海外研修	1前				2		1	1						
専門基幹科目	専門基幹科目		国際経営戦略論	2・3前		2		1						
			民法Ⅰ	2・3前		2							1	
			民法Ⅱ	2・3後		2							1	
			経営統計入門	2・3後		2		1						
			消費者行動論	2・3後		2		1						
			ホテルマネジメント論	2・3前		2			1					
			プライダグル事業論	2・3後		2			1					
		旅行業事業論	2・3前		2		1							
		観光マーケティング	2・3後		2			1						
		Research & Presentation 1	3前		2			1				1		
Research & Presentation 2	3後		2			1				1				
Thesis Writing 1	4前		2			1	1							
Thesis Writing 2	4後		2			1	1							
学科別専門科目	専門展開科目	アジア市場と日本	3・4前		2		1							
		企業財務論	3・4後		2							1		
		Global Marketing	3・4前		2		1							
		多国籍企業論	3・4後		2				1					
		Airline Business Strategy	3・4後		2			1						
		マーケティング・リサーチ	3・4前		2		1							
		ブランド・マネジメント	3・4前		2			1						
		広告とメディア	3・4後		2		1							
		テーマパーク・レジャー産業論	3・4前		2		1							
		MICEビジネス論	3・4後		2		1					1		
地域経営論	3・4後		2		1									
観光マネジメント特殊講義	3・4前		2		1									
Global Business Studies 1	3前		1			1								
Global Business Studies 2	3後		1			1								
Global Business Studies 3	4前		1			1								
Global Business Studies 4	4後		1			1								

【平成30年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼 任
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	学科別専門科目	旅行業法関連法規	2・3前		2		1						
		旅行業取扱管理者演習	2・3前		2							1	
		旅程管理者演習	2後		2		1						
		イベント企画演習	3後		2		1						
		専門インターンシップ	3後		2			1				1	
		国際観光ビジネス調査	3後		2		1						
		English for Business Communication 1	3前		2		1	1					
		English for Business Communication 2	3後		2		1	1					
		English for Business Communication 3	4前		2			1				1	
		English for Business Communication 4	4後		2			1				1	
	学科別専門科目	専門演習 1	2前	2			2	3	1				
		専門演習 2	2後	2			2	3	1				
		専門演習 3	3前	2			2	3	1				
		専門演習 4	3後	2			2	3	1				
		専門演習 5	4前	2			2	3	1				
		専門演習 6	4後	4			2	3	1				
合計（175科目）			-	40	278	0	4	5	1	0	0	89	
卒業要件及び履修方法													
大学共通科目のうち、共通基礎科目から必修10単位を含む22単位以上、教養科目から10単位以上、キャリア支援科目から6単位以上、計38単位以上を修得するとともに、専門科目のうち、学部共通専門科目から必修12単位を含む30単位以上、学科別専門科目から必修18単位を含む38単位以上、計68単位以上を修得した上で、その他に大学共通科目もしくは専門科目から18単位以上を修得し、合計124単位以上を修得することを卒業要件とする。 （履修科目の登録の上限：24単位（1学期））													

- （注）
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。
 （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・授業運営上の理由により、「日本語コミュニケーション1」の兼任・兼担教員の配置を1名から3名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「日本語コミュニケーション2」の兼任・兼担教員の配置を1名から3名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「情報リテラシー1」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「情報リテラシー2」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅰ」の配当年次を「1・2前後」から「1・2前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語演習Ⅱ」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語表現Ⅰ」の配当年次を「1・2・3前後」から「1・2・3前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「中国語入門Ⅱ」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「フランス語入門Ⅱ」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「海外短期語学研修」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「General English1」の兼任・兼担教員の配置を2名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「General English2」の兼任・兼担教員の配置を2名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「English Communication1」の兼任・兼担教員の配置を3名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「English Communication2」の兼任・兼担教員の配置を3名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「日本の文学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「人間と宗教」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「哲学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「比較文化論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「考古学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「身体論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「20世紀の芸術」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「日本国憲法」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「国際協力と日本」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「人権と社会」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「現代倫理」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「社会学概論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「多文化共生社会」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「経済入門」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「外国史概説」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「生命と科学」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「暮らしの科学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「子どもと文化」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担教員の配置を2名から3名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「健康科学」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師0」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師0」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「マネジメント入門」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「マネジメントインフォメーション」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「ビジネスデータ分析」の専任教員等の配置を「教授1、講師0」から「教授0、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「生産管理」の専任教員等の配置を「教授1、講師0」から「教授0、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「経営モデル分析」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「Intercultural Studies1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「Intercultural Studies2」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「短期海外研修」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「多国籍企業論」の専任教員等の配置を「教授1、講師0」から「教授0、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「Global Business Studies3」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「Global Business Studies4」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習1」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習2」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習3」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習4」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習5」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。
- ・担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習6」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師0」から「教授2、准教授3、講師1」に変更。

【令和元年度】

- ・授業運営上の理由により、「フランス語入門Ⅰ」の兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「フランス語入門Ⅱ」の兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「General English1」の兼任・兼担教員の配置を2名から0名に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「General English2」の兼任・兼担教員の配置を2名から0名に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教2」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「General English3」の兼任・兼担教員の配置を2名から0名に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教2」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「General English4」の兼任・兼担教員の配置を2名から0名に変更、専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「English Communication1」の兼任・兼担教員の配置を3名から0名に変更、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「English Communication2」の兼任・兼担教員の配置を3名から0名に変更、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「English Communication3」の兼任・兼担教員の配置を3名から0名に変更、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「English Communication4」の兼任・兼担教員の配置を3名から0名に変更、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「日本の文学」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「心理学」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「比較文化論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1前・2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「民族学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「考古学」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「人権と社会」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「現代倫理」の配当年次を「1・2・3・4前後」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「日本の社会福祉」の兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「女性学・男性学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「外国史概説」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更、専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「生命と科学」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「環境と科学」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「現代科学論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。兼任・兼担教員の配置を3名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「大阪の風土と文化」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「京都の文化と芸術」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅰ」の配当年次を「1・2・3・4前後」から「1・2・3・4前」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「スポーツ演習Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4前後」から「1・2・3・4後」に変更。兼任・兼担教員の配置を1名から2名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「キャリアデザイン2」の兼任・兼担教員の配置を3名から7名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「キャリアデザイン3」の兼任・兼担教員の配置を3名から7名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「インターンシップ1」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「キャリア演習1」の専任教員等の配置を「教授0、准教授0」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「ビジネスマネジメント」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「経営戦略論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼担教員の配置を1名から0名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「マーケティング論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼担教員の配置を0名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「組織とコミュニケーション」の配当年次を「2・3前」から「2・3後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「サービスマネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、兼任・兼担教員の配置を0名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「人事管理」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「インターネットビジネス」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」、兼任・兼担教員の配置を0名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「ビジネスデータ分析」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、兼任・兼担教員の配置を0名から1名に変更。
- ・授業運営上の理由により、「情報社会論」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「短期海外研修」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教0」から「教授0、准教授1、助教1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「経営統計入門」の配当年次を「2・3後」から「3後」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「旅行実務論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授0」から「教授0、准教授1」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「Thesis Writing1」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「Thesis Writing2」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「国際観光ビジネス調査」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「English for Business Communication1」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員の辞任により、「English for Business Communication2」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「専門演習1」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、講師1」から「教授3、准教授2、講師1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「専門演習2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、講師1」から「教授3、准教授2、講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
19 科目	156 科目	0 科目	175 科目	19 科目	156 科目	0 科目	175 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	英語表現Ⅲ	1	2・3前	一般	選択	語学教育改革に伴う科目の見直しにより今年度未開講。 全学共通教育改革に伴う教養教育の見直しにより今年度未開講。他の教養科目のクラス規模・開講コマ数の調整等により対応。
2	総合講座「日本人論」	2	1・2・3・4後	一般	選択	
3	身体論	2	1・2・3・4後	一般	選択	
4	20世紀の芸術	2	1・2・3・4後	一般	選択	
5	国際協力と日本	2	1・2・3・4後	一般	選択	
6	国際理解教育	2	1・2・3・4後	一般	選択	
7	メディア・リテラシー	2	1・2・3・4後	一般	選択	
8	情報と職業	2	1・2・3・4後	一般	選択	
9	暮らしの科学	2	1・2・3・4前後	一般	選択	
10	物質と科学	2	1・2・3・4前	一般	選択	
11	地域理解	2	1・2・3・4前	一般	選択	
12	子どもと文化	2	1・2・3・4前	一般	選択	
13	子どもの成長とコミュニティ	2	1・2・3・4後	一般	選択	
14	スポーツ演習Ⅲ	1	1・2・3・4前後	一般	選択	
15	キャリア演習2	2	2後・3前	一般	選択	全学共通教育改革に伴うキャリア教育の見直しにより今年度未開講。
16	キャリア演習3	2	2・3後	一般	選択	
17	マルチメディア	2	2・3前	専門	選択	学部共通教育改革に伴う科目の見直しにより今年度未開講。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学共通科目のうち「英語表現Ⅲ」については他に開講する英語系科目、「キャリア演習2」「キャリア演習3」については他に開講するキャリア関連科目、教養科目の13科目については他に開講する教養科目において、また、学部共通専門科目にあたる「マルチメディア」については他に開講する経営に係る専門科目において、いずれも指導の充実やクラス数や担当教員数の増等によって対応しており、学生の履修に支障が生じないよう配慮している。なお、学生に対しては4月の履修ガイダンス時に周知を図っている。（元）

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{17}{175} = \boxed{9.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校 舎 敷 地	5932.24㎡	28,356.03 ㎡ 27,043.55 ㎡ 25,780.55 ㎡	50,288.54 ㎡ 51,992.94 ㎡ 50,288.54 ㎡	84,576.81 ㎡ 84,968.73 ㎡ 82,901.33 ㎡	大阪成蹊短期大学 (必要面積13,600 ㎡)、びわこ成蹊ス ポーツ大学(必要面 積14,400㎡)と共用 運動場用地2箇所は校 舎敷地と別地(徒歩 約5分に1箇所、公共 交通機関利用約50分 に1箇所) 敷地の使用用途変更 のため(30) 共用する他の学校等 の専用等から共用へ の内容変更のため (元)
	運動場用地	0㎡	77,695.18 ㎡ 73,520.01 ㎡	79,482.00 ㎡ 81,761.77 ㎡ 83,657.17 ㎡	157,177.18 ㎡ 155,281.78 ㎡ 157,177.18 ㎡	
	小 計	5932.24㎡	106,051.21 ㎡ 100,563.56 ㎡ 99,300.56 ㎡	129,770.54 ㎡ 133,754.71 ㎡ 133,945.71 ㎡	241,753.99 ㎡ 240,250.51 ㎡ 239,178.51 ㎡	
	そ の 他	0 ㎡ 428.00 ㎡	233.71 ㎡ 594.52 ㎡	15,611.11 ㎡ 15,802.11 ㎡ 15,611.11 ㎡	15,844.82 ㎡ 16,035.82 ㎡ 16,633.63 ㎡	
	合 計	5,932.24 ㎡ 6,360.24 ㎡	106,284.92 ㎡ 100,797.27 ㎡ 99,895.08 ㎡	145,381.65 ㎡ 149,556.82 ㎡	257,959.62 ㎡ 256,286.33 ㎡ 255,812.14 ㎡	
	校 舎					
		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪成蹊短期大学 (必要面積13,000 ㎡)と共用 部屋の使用変更のた め(30) 新校舎増設及び部屋 の使用変更のため (元)
(2) 校 舎		12,268.72 ㎡ 11,428.70 ㎡ 11,400.96 ㎡	23,427.71 ㎡ 22,378.87 ㎡ 22,374.60 ㎡	4,595.79 ㎡ 4,050.57 ㎡ 4,082.58 ㎡	40,292.22 ㎡ 37,858.14 ㎡	
		(12,268.72 ㎡) (11,428.70 ㎡) (11,400.96 ㎡)	(23,427.71 ㎡) (22,378.87 ㎡) (22,374.60 ㎡)	(4,595.79 ㎡) (4,050.57 ㎡) (4,082.58 ㎡)	(40,292.22 ㎡) (37,858.14 ㎡)	
(3) 教 室 等		講 義 室 19 室	演 習 室 45 室 34—室	実験実習室 163 室	情報処理学習施設 13 室 (補助職員 -人)	語学学習施設 2 室 1—室 (補助職員 -人)
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 マネジメント学部 国際観光ビジネス学科			室 数 10 -9	室
(5)	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点
	国際観光 ビジネス学科	309,619 [40,449] 307,912 [39,263] 304,978 [38,512]	12,633 [10,469] 11,004 [8,840] 10,197 [8,040]	10,336 [10,336] 8,707 [8,707] 7,907 [7,907]	6,456 6,481 3,105	3,449
		(309,619 [40,449]) (307,912 [39,263]) (304,978 [38,512])	(12,633 [10,469]) (11,004 [8,840]) (10,197 [8,040])	(10,336 [10,336]) (8,707 [8,707]) (7,907 [7,907])	(6,456) (6,481) (3,105)	(3,449)
	計	309,619 [40,449] 307,912 [39,263] 304,978 [38,512]	12,633 [10,469] 11,004 [8,840] 10,197 [8,040]	10,336 [10,336] 8,707 [8,707] 7,907 [7,907]	6,456 6,481 3,105	3,449
		(309,619 [40,449]) (307,912 [39,263]) (304,978 [38,512])	(12,633 [10,469]) (11,004 [8,840]) (10,197 [8,040])	(10,336 [10,336]) (8,707 [8,707]) (7,907 [7,907])	(6,456) (6,481) (3,105)	(3,449)
(6) 図 書 館		面 積 1,730.14 ㎡ 2,060.08 ㎡	閱 覧 座 席 数 180 席	収 納 可 能 冊 数 310,000 冊	大学全体 書庫の使用用途変更 のため(30) 学園所有の既設体育 館を大学共用に変更 したため(元)	
(7) 体 育 館		面 積 4,706.37㎡ 2,357.27㎡	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要 該当なし	該当なし		
(8)	経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度
		教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	— 千円
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	3,500千円
		学生1人当り 納付金	第1年次 1,410千円	第2年次 1,160千円	第3年次 1,160千円	第4年次 1,160千円
		学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。			

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	大 阪 成 蹊 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科 のみ)	開設 年度	所 在 地	
教育学研究科	年	人	年次 人	人	-	倍	年度	年度	大阪府大阪市東淀川区 相川3丁目10番62号	
教育学専攻	2	5	-	10	修士 (教育学)	1.00	-	平成30年度	同上	
大学院全体	2	5	-	10	-	1.00	-	-	-	
マネジメント学部	4	240	3年次 4	844	-	1.11	-	平成15年度	同上	
マネジメント学科	4	70	3年次 1	322	学士 (経営学)	1.11	平成30	平成15年度	同上	定員変更 (△20)
スポーツマネジメント学科	4	110	3年次 1	402	学士 (経営学)	1.15	平成30	平成28年度	同上	定員変更 (20)
国際観光ビジネス学科	4	60	3年次 2	120	学士 (経営学)	1.02	-	平成30年度	同上	
芸術学部	4	190	3年次 1	723	-	1.08	-	平成18年度	同上	定員変更 (13)
造形芸術学科	4	190	3年次 1	723	学士 (芸術)	1.08	令和元	平成18年度	同上	定員変更 (13)
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	-	平成18年度	同上	平成27年学生募集停止
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	-	平成18年度	同上	平成27年学生募集停止
教育学部	4	180	3年次 5	610	-	1.05	-	平成26年度	同上	定員変更 (20)
教育学科	4	180	3年次 5	610	学士 (教育学)	1.05	平成30	平成26年度	同上	定員変更 (20)
初等教育専攻	4	120	3年次 5	490	学士 (教育学)	1.07	平成30	平成26年度	同上	
中等教育専攻	4	60	-	120	学士 (教育学)	1.03	平成30	平成30年度	同上	
大学全体	4	610	10	2177	-	1.08	-	-	-	
大学 の 名 称	び わ こ 成 蹊 ス ポ ー ツ 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科 のみ)	開設 年度	所 在 地	
スポーツ学研究科	2	10	-	20	-	0.60	-	-	滋賀県大津市北比良 1204番地	
スポーツ学専攻	2	10	-	20	修士 (スポーツ学)	0.60	-	平成24年度	同上	
大学院全体	2	10	-	20	-	0.60	-	-	-	
スポーツ学部	4	360	-	1,440	-	1.08	-	-	同上	
スポーツ学科	4	360	-	1,440	学士 (スポーツ学)	1.08	-	平成27年度	同上	
生涯スポーツ学科	4	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	-	平成15年度	同上	平成27年学生募集停止
競技スポーツ学科	4	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	-	平成15年度	同上	平成27年学生募集停止
大学全体	4	360	-	1,440	-	1.08	-	-	-	
大学 の 名 称	大 阪 成 蹊 短 期 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学科 のみ)	開設 年度	所 在 地	
生活デザイン学科	2	50	-	100	短期大学士 (生活デザイン)	1.01	-	平成28年度	大阪府大阪市東淀川区 相川3丁目10番62号	
調理・製菓学科	2	120	-	240	短期大学士 (調理・製菓)	0.95	-	平成28年度	同上	
栄養学科	2	120	-	240	短期大学士 (栄養)	0.75	-	平成28年度	同上	
幼児教育学科	2	300	-	600	短期大学士 (幼児教育)	1.01	-	昭和31年度	同上	
観光学科	2	90	-	180	短期大学士 (観光)	1.13	-	昭和42年度	同上	
グローバルコミュニケーション学科	2	30	-	60	短期大学士 (グローバルコミュニケーション)	1.11	-	平成15年度	同上	
経営会計学科	2	50	-	100	短期大学士 (経営会計)	1.11	-	平成15年度	同上	
短期大学全体	2	760	-	1520	-	0.98	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A○対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成29年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項 開設時に定年年齢に達している者が1名、完成年度までに定年年齢に達する者が2名いる。教員組織編成の将来構想を検討し、当該3名の教員については、完成年度までの雇用を原則としつつも、完成年度以後を見据えた教員採用において50代の教員を中心に年齢構成のバランスに配慮しながら教員採用を行うこととしている。また、開設にあたって、経営学を専門とする30代の若手教員を新たに採用している。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	【該当なし】		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	【該当なし】		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<マネジメント学部 国際観光ビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

「該当なし」

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位、選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大阪成蹊大学では、学部毎にFD委員会を設け、教員の資質の維持向上に努めている。委員会は、学部長が委員長となり、各学科の学科長及び各学科から選出した委員により構成している。なお、その他に本学では、全学的な教学改革を推進することを目的とする教学改革FSD会議を開催しているが(平成28年度実績：全15回開催、平成29年度実績：全10回開催、平成30年度実績：全12回開催、構成員：理事長・総長、学長、副学長、学部長、学科長、コース主任等の専任教員、高等教育研究所研究員及び幹部職員等)、アドミッション・ポリシーと入試方法の整合、シラパスの一層の充実、アクティブラーニングの推進、適切な成績評価の実施など20のプロジェクトを立ち上げ、教学改革を推進する中で、各プロジェクトが中心となって教員の資質を高める研修を開催している。また、新任教員向け研修会も開催した。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

平成30年度のFD委員会の開催状況は以下の通りである。

平成30年4月12日開催(参加率100%)

c 委員会の審議事項等

平成30年度FD研修会開催計画の策定

② 実施状況

a 実施内容

以下の研修を実施し、教員の資質の維持向上を図った。なお、下記FD研修はすべて全員出席としており、当日の出席がなかった教員に対しては、後日学部長が研修を行っている。

(FD研修)

- 「パーソナル・ランド・マネジメントプロジェクトの全学展開に向けた平成30年度の指導内容について」
平成30年4月19日(42名出席/43名 出席率98%)
- 「平成30年度の教学改革の組織的展開について」平成30年5月31日(38名出席/43名 出席率88%)
- 「平成30年度の専門演習における指導体制と、卒業研究指導の具体的な方法について」
「授業評価アンケートの変化を踏まえた各授業における授業改善について」
「成績評価分布の変化を踏まえた各授業における成績評価の改善点及びGPAの具体的な運用について」
「平成31年度教育課程変更案について」平成30年6月21日(39名出席/43名 出席率91%)
- 「平成31年度入学者募集における面接試験方法の変更点と、具体的な運用方法について」
平成30年7月26日(40名出席/43名 出席率93%)
- 「平成31年度の専門カリキュラムの変更点と各開講科目の目的、教育配置、具体の指導方法について」
平成30年9月20日(38名出席/43名 出席率88%)

- ・「平成31年度の初年次教育における具体の授業内容、授業方法、教育体制等について」
「平成31年度のキャリア教育における具体の授業内容、授業方法、教育体制等について」
平成30年10月18日（42名出席/43名 出席率98%）
- ・「重要リスク項目に関する自己評価結果について」
「平成31年度用シラバスの作成における各項目の記載方法及びチェック体制の改善点について」
平成30年12月20日（40名出席/43名 出席率93%）
- ・「授業評価アンケートの変化を踏まえた各授業における授業改善について」
「成績評価分布の変化を踏まえた各授業における成績評価の改善点及びGPAの具体的な運用について」
平成31年1月24日（40名出席/43名 出席率93%）
- ・「PROGテスト結果を踏まえた今後の教育内容、学生指導における具体的改善点について」
平成31年2月27日（37名出席/43名 出席率86%）
- ・「平成30年度の研究結果報告（2018年度共同研究の成果報告）」平成31年3月7日（38名出席/43名 出席率88%）
- ・「専門演習のポートフォリオ実施に関して」
「研究倫理の遵守と次年度以降の研究計画について」平成31年3月19日（38名出席/43名 出席率88%）
（全学FSD研修）
- ・「平成31年度入学募集における面接試験方法の変更点と、具体的な運用方法について」平成30年7月26日
- ・「これからの高等教育に求められる求められる質保証について：高等教育を取巻く諸情勢から」
「これからの高等教育に求められる質保証について：経営淘汰の最前線から」
「アクティブラーニング型授業の全学的展開に向けた授業改善の具体的工夫について」
「成績評価分布の変化と、今後の成績評価における基本方針及び具体の改善点について」平成30年8月23日
- ・「効果的な授業設計・シラバス作成のための工夫について」平成30年12月20日
- ・「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）について」平成31年2月26日
（その他研修）
- ・「平成30年度研究倫理・コンプライアンス研修会」平成30年9月18日

b 実施方法

上記取組みは、FD委員会および教学改革FSD会議、教務本部等との連携を図り実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前述の通り、前期・後期それぞれでFD研修及び教員の資質の維持向上に係る取組みを実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各期末に、担当授業ごと、各教員は授業報告書・改善計画書を学長に提出するほか、シラバス作成に伴いアクティブラーニング実施計画を個々の教員が作成することとしているが、FD研修や授業評価アンケートの実施結果、教員相互の授業参観における授業改善への気づき、教学改革会議において推進されている改革の趣旨・内容等を踏まえながら改善計画を立案しており、各教員が個々の授業の省察と改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成30年7月14日～7月30日、平成31年1月7日～1月26日の前後期1回ずつ実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、授業評価アンケートの結果をフィードバックするとともに、全授業において授業改善計画書の提出を課している。また、学生に対しては、授業評価アンケートの結果を冊子化し、図書館に配架し公表することとしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

「該当なし」

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際観光ビジネス学科は、現代の社会・経済・経営・情報環境の下で求められる「グローバル化が進む産業及び観光関連産業に係るビジネスとマネジメントに関する基礎的能力とスキル」及び「国際コミュニケーションに関する基礎的能力とスキル」を備え、グローバル化が進む産業及び観光関連産業における現代の多様な経営課題の解決に貢献できる人材を育成することを設置の目的としている。初年度は、「大学での学びとキャリアを考える」「日本語コミュニケーション」「情報リテラシー」等、大学生に必要なアカデミックスキルや、社会人としても求められるリテラシーを身につける大学共通基礎科目のほか、幅広い教養を身につけるための教養科目を開講した。また「マネジメント入門」「ビジネス会計」等の学部共通専門科目や「国際経営総論」「観光ビジネス概論」等の学科別専門科目を通じて、グローバル産業や観光関連産業に関する基礎的な考え方を身につけることのできる科目を開講した。入学前教育や、新入生宿泊研修等、4年間を通して学び合う仲間として学生が互いの理解を深めながら、大学での学びを円滑にスタートできるようプログラムも展開している。また、新たに英語教育センターを開設し、英語が堪能な日本人スタッフと、複数名のネイティブスタッフを雇用・配置するなどして、正課外での英語学習環境を充実した。夏季には3週間の「短期海外研修」において留学・ホームステイを経験し、異文化コミュニケーションを通じて様々な気づきを得ながら大きく成長している。2年目を迎える令和元年には、グローバル館の竣工、ネイティブの専任助教4名の採用等によって、グローバルビジネス人材育成のための教育環境を更に充実することができた。学科別専門科目の開講数が増えていくので、実社会との関わりを考えながら専門性を深めていくことができるよう指導を更に徹底するとともに、長期留学への挑戦も視野に入れたグローバル教育にも力を入れていく。

なお各科目の開講にあたっては、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成やカリキュラムマップの作成を行い、教育内容や履修系統を学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。また、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和元年9月1日 公表

b 公表方法

- ・ 自己点検・評価報告書を刊行し、関連所属協会等に配布
- ・ 大学ホームページ上に公開予定（令和元年9月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受審済（適合）
- ・ 平成36年度に同評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 8月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪成蹊大学教授会規程(平成15年4月1日)第4条第2項の規定に基づき、大阪成蹊大学マネジメント学部にて、本学の教学理念に沿った教育活動を向上させるファカルティ・ディベロップメント(以下、「FD」という)の推進を図るため、ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会(以下、「委員会」という)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる活動を行う。

- (1) FDを推進するための施策の検討と実施に関すること
- (2) FDに係わる資料・情報の収集と学内広報に関すること
- (3) FDに係わる調査・研究に関すること
- (4) 授業評価に関すること
- (5) 教育課程編成・実施の方針に関すること
- (6) FDに係わる報告書等の作成に関すること
- (7) 教育活動優秀教員の表彰に関すること
- (8) FDに係わる職員の職能開発(スタッフ・ディベロップメント [SD])との連携に関すること
- (9) FDに係わって学長から諮問があった事項に関すること
- (10) その他FDに関すること

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学科長
- (3) 教務委員会委員長
- (4) 学部長が推薦した者 若干名
- (5) 教務部長

2 前項第4号の委員は、学長が総長の了解を得た上で委嘱する。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

2 委員会には副委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

(任期)

第5条 第3条第4号の委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項が定める委員以外の委員の任期は、当該役職もしくは委員の在任期間とする。

3 委員に欠員が生じたときは、これを補充する。ただし、その場合の任期は前任者の残存期間とする。

(運営)

第6条 委員会は委員長が招集し、議事を進行する。

2 委員会は構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可決同数のときは、委員長の決めるところによる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その任務を代行する。

(委員以外の出席)

第7条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、教務部において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関わる必要な事項は、委員会が別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、委員会および教授会の審議を経て行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月23日)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月24日)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年2月23日)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月21日)

この規程は、平成28年4月21日から施行する。

附 則(平成29年10月30日)

この規程は、平成29年10月30日から施行する。